

設立 昭和47年4月27日  
事務所の住所 徳島市南矢三町2丁目1-59  
【登記上の住所】 (徳島市西新浜町2丁目3番78号)  
〈障害者支援施設「希望の郷」内〉

法人本部 徳島市南矢三町2丁目1-59  
Tel. 088-631-1200

直営施設・事務所の経営

P3	希望の郷(障害者支援施設)	徳島市西新浜町2丁目3番78号 Tel. 088-663-5550 入所定員 115名 短期入所定員 5名 通所定員 177名
P9	相談支援事業所 きぼう	徳島市中昭和町1丁目2番地 Tel. 088-655-5535
P7	希望ホーム(共同生活援助事業)	徳島市南末広町2番37号 利用定員 13名
P5 P8	未来(障害児入所施設) 放課後等デイサービス事業所 未来	徳島市国府町中369番地の1 Tel. 088-642-4040 入所定員 60名 短期入所定員 4名 通所定員 10名

指定管理施設の運営

P15	徳島県障がい者交流プラザ 障がい者交流センター	徳島市南矢三町2丁目1-59 利用定員 227名
P10	視聴覚障がい者支援センター	Tel. 088-631-1200 Tel. 088-631-1400
P14	徳島県立総合福祉センター	徳島市中昭和町1丁目2番地 利用定員 872名 Tel. 088-654-0294

事業委託の実施

P11	徳島県地域生活定着支援センター	徳島市中昭和町1丁目2番地 Tel. 088-611-0220
	ノーマライゼーション促進センター	徳島市南矢三町2丁目1-59 Tel. 088-634-2000
P13	徳島県障がい者 芸術・文化活動支援センター	徳島市南矢三町2丁目1-59 Tel. 088-631-1200
P12	徳島県障がい者 スポーツ協会事務局	徳島市南矢三町2丁目1-59 Tel. 088-634-2000

当事業団のシンボルマーク



福祉の「ふ」の文字を图形化しました。丸は「徳島県社会福祉事業団」を意味し、ここを中心には様々な波紋が広がっていくイメージで、発展や推進を意味します。カラーは、左から順番に「阿波藍」、「吉野川」、「徳島の空」を3色の青で表現しています。また、このマークを左に90度回転することにより、徳島県の形状としても見ることができます。



## Smile Communication and Teamwork

私たちの目標

平成から令和へ。職員一丸となって、利用者、保護者、地域の皆さん  
「あふれる笑顔」を支え、信頼される法人を目指します。  
「スマイル」「コミュニケーション」「チームワーク」が日々の運営目標です。





## あなたの未来が、ここにある いっしょに創ろう、地域共生社会

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

### 法人のあゆみと経営理念

昭和47年の設立以来、福祉ニーズの変化に応じて、法人の歩みを刻んできました。平成から令和へ。積み上げてきた信頼を財産とし、地域共生社会の実現に向け、牽引役を果たしていきます。利用者の視点を基本において、職員一丸となって、利用者、保護者、地域の皆さんの「あふれる笑顔」を支え、信頼される法人を目指します。「スマイル」「コミュニケーション」「チームワーク」が日々の運営目標です。

### 経営中期計画

5ヵ年の「中期計画」を策定し、①経営組織の体制づくり ②福祉人材の確保と育成 ③施設機能の強化と利用者サービスの向上④地域との交流・地域貢献を重点においています。地域共生社会に向けた「飛躍と挑戦」、そのため経営力を高めています。

### 地域共生社会の拠点づくり

現在、障害者支援施設「希望の郷」及び障害児入所施設「未来」の経営をはじめ、「徳島県立障がい者交流プラザ」など、県立施設の指定管理業務等を行っています。

今後、住まい、就労、日中活動、さらに児童発達などの多機能が集積する総合的な地域生活支援拠点の整備を進めます。新施設では、普段は地域の高齢者や子ども、子育て世代の皆さんに利用してもらう一方、災害時には地域の安全な福祉避難所の役割を果たすことができるよう整備します。

### 障がい福祉を基本とした多様な業務

当法人は、障がい者、子どもから大人までの切れ目のないサービスを中心に幅広い業務を行っています。視覚や聴覚に障がいがある人の支援専門機関もあります。

東京2020オリンピック、パラリンピックの開催を契機として、障がい者のスポーツ、芸術・文化活動を身近な地域で楽しめるよう、徳島県障がい者スポーツ協会と徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターの事務局を担い、多彩な事業を積極的に展開しています。

### 専門職と多様な職種が活躍できる職場

介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、保育士、管理栄養士、看護士、精神保健福祉士、心理職、手話通訳士など、多くの職員が福祉専門職の資格を持っています。理学療法士や嘱託医師との連携を含めて、一人ひとりを大切にするチーム支援を行います。また子育て中の職員、高齢者や障がい者が働きやすく、働き続けることができる多様な職種、多様な勤務形態で笑顔があふれる職場づくりを進めています。

# Communication

コミュニケーション 伝えよう、通わせよう



主任支援員  
檍地泰彦 Kashiji Yasuhiko

入職して1年目の頃、不安定になったある利用者さんに対してどのように接することが正確なのかが分からず、ただ右往左往するしかありませんでした。しかし先輩職員が声を掛けると、その利用者さんはすぐに落ち着きを取り戻されたことがあります、自分の声かけでは想いが届かなかったという大変厳しい経験をしました。その経験があったことで信頼関係を築く大変さや重要性を理解することができました。

利用者さんの表現方法、生活の楽しみ方は独特ですが、希望の郷で利用者さんとともに過ごしてきた7年間で、この人は何で怒っているのか、何を喜んでいるのか、分かるようになってきたことが、自分自身の成長の証だと考えています。それぞれの思いを汲み取ることが我々のプロフェッショナル（専門性）だと思っています。日々、特別じゃなくても「毎日が楽しい」と思ってもらえるように支援していくことを心掛けています。

## 障害者支援施設 希望の郷

### 運営方針

利用者の自立と社会経済活動への参加を促進し、利用者の能力や特性、環境などに応じ、利用者本位のサービスを提供します。また利用者の意思と人格を尊重し、利用者の立場にたった福祉サービスを提供するよう努めています。

### 利用・入所定員

- 生活介護事業 145名
- 自立訓練事業（生活訓練） 6名
- 就労移行支援事業 6名
- 就労継続支援事業（B型） 20名
- 施設入所支援事業 115名
- 短期入所事業（併設型） 5名

# Professional

プロフェッショナル 高めよう専門性



## 運営方針

子どもたちの一人ひとりが人間としての尊厳を守られながら、豊かで健やかに成長し、地域社会の一員として自己の能力や特性に応じた暮らしができるよう、利用者サービスを提供します。18歳以上の利用者に対しては、個々の能力や特性に応じた障害福祉サービスの提供によって地域生活を目指した支援を行います。

## 利用・入所定員

- 障害児入所施設（経過的生活介護、施設入所支援を含む）60名

- 障害児短期入所事業 4名



児童支援員

篠原亞耶子

Shinohara Ayako

個性豊かな子どもたちと過ごす毎日は目の回る忙しさですが、彼らのより良い生活やこれからの中へ向けて、日々できることを考え、話し合い、各関係機関とも連携し支援に取り組んでいます。また、子どもたちの「できた」をお互いに喜び合えるとともに、成功した時の「笑顔」を見ると言葉では言い表せられない感情が心の奥で湧いてきます。

また、その背景には報告・連絡・相談がしやすい環境かつOJT・Off-JTの充実、資格習得に向けてのサポート体制があることで、個人的なスキルアップもでき、これらが子どもたち各自に合った支援に取り組めるとともに、無限の可能性及び成長を引き出せるのではないかと実感しています。



## Teamwork

チームワーク | ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために



保育士

和泉啓介

Izumi Keisuke

入所施設での勤務経験は初めてで、最初はこれまでの経験との違いから戸惑うこともありましたが、周囲のサポートもあり、楽しく業務に取り組むことができています。子どもたちの年齢、障害特性、これまでの生育歴など様々で、一括した支援ではなく個々に応じた支援の必要性を感じています。保護者の元を一度離れて施設の中で生活していくための支援だけでなく、将来を見据えて保護者や学校をはじめ、各関係機関と連携しながら日々協議し、実践と反省を繰り返しながら支援の方向性を探っていくことが重要だと考えています。自分一人の力だけではまだまだ微力ですが、周囲との繋がりを大切にし、「未来」や法人全体に今以上の貢献ができるよう目標を設定し、今後も頑張っていきたいと思います。



保育士

折野紗弓

Orino Sayumi

一人ひとりの障害特性を把握した上で、この児童はどう話せば伝わるかを考えながら言葉を選んだり、見て分かりやすいよう絵やスケジュールを提示するなど工夫し、児童が理解してくれた時にはとてもやりがいを感じます。専門知識も少しづつ身につき、以前はどのように対応すれば良いか分からなかったこともスムーズに対応できた時には嬉しく思います。

また、研修を通じて利用者・職員など多くの人と関わりや、新しい気づきを得ることができ、社会人として一人の人間としても成長を実感しています。今後の目標は、利用者のご家族とも深く関わり、困った時や悩んだ時に信頼してもらえるよう、福祉に関わる資格を取得し相談に乗れるようにしたいです。



看護師

犬伏有美 Inubushi Yumi

「希望の郷」、「希望ホーム」の利用者様が心も体も健康で穏やかに毎日を過ごすことができるよう健常面でのサポートをさせていただいています。高齢の方、障害の重度な方が多くおられる施設のため、感染症予防には力を入れており、職員一丸となって取り組んでいます。

人はそれぞれ生活の中で目的を持って生き

ています。障害を持っている方でも、毎日自分の生活リズムを大切にしながら小さな目的を達成し生活しているのだと思います。私たちの仕事は、その生活リズムが上手く流れるよう支援することではないでしょうか。生活の環境を整え、利用者様の大切な時間が健やかに送ることができるよう今後もサポートをさせていただきたいと思っています。

# Honest

| オネスト | 誠実に、実直に

共同生活援助事業

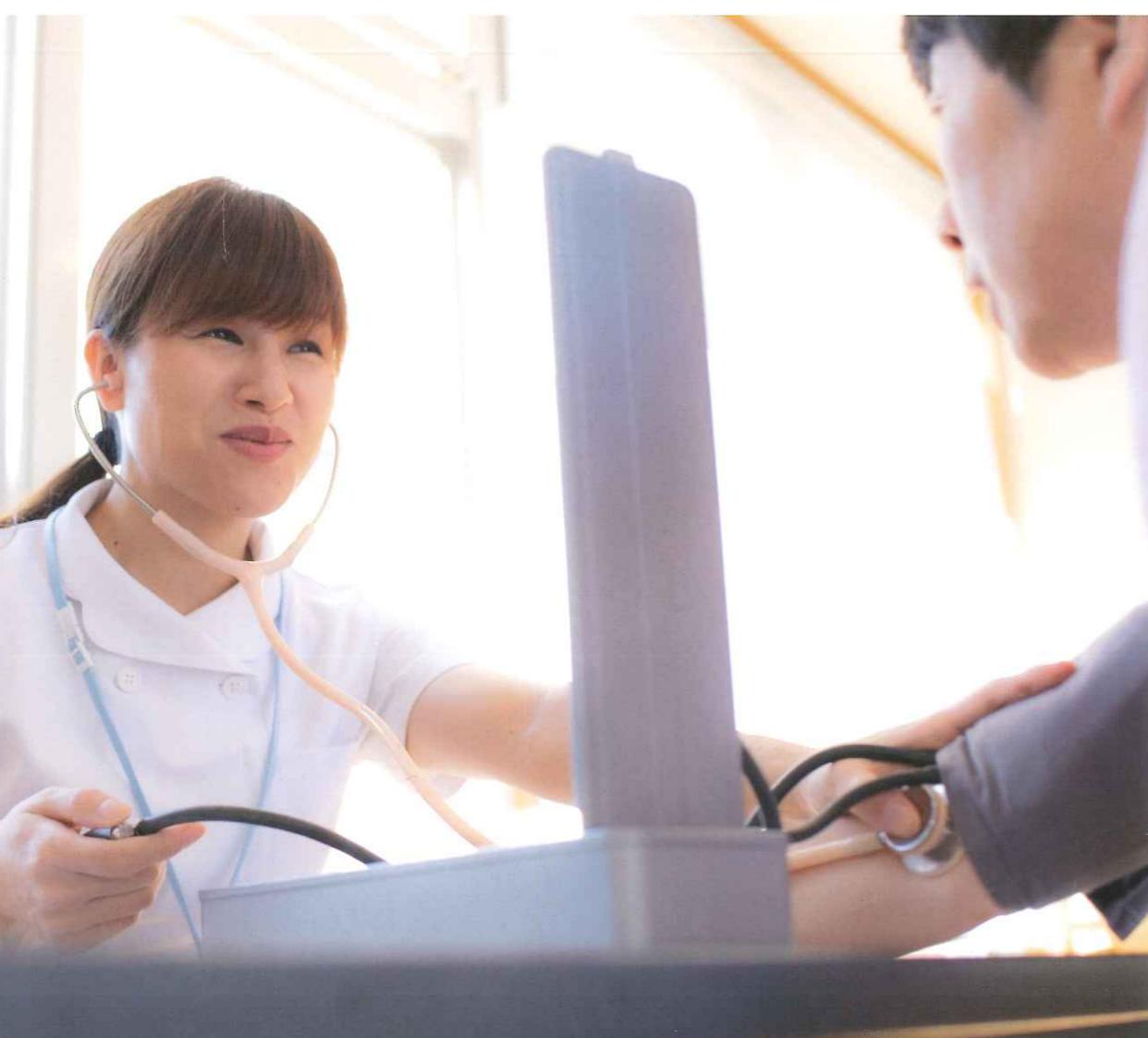
## 希望ホーム

**運営方針**

利用者が自主性を保ち、意欲的に日々の生活を送ることができるよう、家庭的な雰囲気のもと、温かい食事の提供、健康管理、入浴等の支援、相談その他の日常生活上の援助を通じて、充実した毎日への支援を行っています。

**利用・入所定員**

●13名



# Smile

| スマイル | 笑顔からはじめよう

放課後等デイサービス事業所

## 未来

**運営方針**

一人ひとりの子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、最善の利益の保障と健全な育成を図ります。また、地域社会への参加や包容を進めるための支援を行うとともに、子育ての悩みや家庭内の養育相談等の保護者支援を行います。

**利用・入所定員**

●10名



児童支援員

中川優子 Nakagawa Yuko

今年度（2019年）4月より、徳島県社会福祉事業団の一員として、再び「福祉」に携わることになりました。

「放課後等デイサービス事業所 未来」では、日々の活動を通じ、子ども達の今後を見据え、生活能力の向上や地域社会との交流を目指し、子ども達の現状に応じた支援に取り組んでいます。

日々の関わりにおいて、子ども達が苦手を克服し、目標を達成する姿を目の当たりにし、子ども達の成長を感じるとともに、微力を尽くすことができ嬉しく思います。

笑顔を絶やすことなく、常に子ども達に寄り添い、自身も成長することができるよう、今後も努力を続けます。



相談支援専門員  
**高橋秀典** Takahashi Hidenori

今まで障害者支援施設等で直接支援の業務を行ってきました。相談支援専門員として業務を行うようになってからは日々が浅く、日々利用者に対しての責任の重さを実感しています。一人での支援は限界があり、悩むこともあります。「相談支援事業所きぼう」では定期的に行う事例検討会など、業務に悩んだ時にすぐに相談できる環境があります。

相談支援専門員は一人で動くことが多いのですが、後ろには「相談支援事業所きぼう」の仲間がいると思うことで自信を持って支援を行なうことができます。

今後も利用者一人ひとりに必要な支援を考え、より豊かな生活を送ることができるように業務に取り組んで行きたいと思います。



## 相談支援事業所 **きぼう**



相談支援専門員  
**山口美樹** Yamaguchi Miki

### 運営方針

障がい者と障がい児等の意思及び人格を尊重し、一人ひとりの能力と適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、抱える課題の解決や適切な福祉サービス等が、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、相談支援を行います。

### 相談種別

- 一般相談支援事業
- 特定相談支援事業
- 障害児相談支援事業
- 徳島市障害者相談支援事業

「相談支援事業所きぼう」は福祉サービスの利用計画の作成や調整、障害を持つ方やその家族の相談に対応することが主な業務です。特に重要な相談業務の内容は多岐に渡っており、些細な困り事から虐待や引きこもり、貧困問題や老障介護等の現代の社会問題と向き合い、行政や病院、警察や学校等、多くの関係機関との連携が必要です。大きな壁に問題解決の糸口が見つからず、思い悩み自分の無力さを痛感する毎日です。

それでもこの仕事を続けられる原動力は福祉サービスを利用して地域や施設で活き活きと生活されている利用者の方々の姿があるからです。もう一つはどんな時も力強く支えてくれる上司や同僚、事業所の皆様がいてくれるからです。これからの福祉はさらに大きな問題に対応していくなければならないと思いますが「チーム相談きぼう」一丸となり向き合い、そのメンバーの一員として力になっていけるよう努力していきたいです。

# Active

アクティブ | 一步踏み出そう



支援員  
**湯浅愛子** Yuasa Yoshiko

視力の低下や、視野が狭くなることで移動することが困難になった方に、安全な移動ができるよう白杖を使った歩行訓練を行っています。その方が、はじめてお一人で交通機関を利用してセンターに来られた時、やっていて良かったと思う瞬間です。「見えなくてもできる!」を増やしていただるために、これからも歩行訓練士として成長していきたいです。



## 視聴覚障がい者 支援センター

### 運営方針

視覚や聴覚に障がいのある人の支援専門機関として、図書館司書、点訳・音訳指導員、歩行訓練士、手話通訳士等を配置し、視覚・聴覚障がい者が地域生活を営む上で生じる課題に寄り添います。一人ひとりを支える多様なアプローチを基本に、視覚障がいリハビリテーション、情報・コミュニケーション支援事業等を実施します。

# Together

| トウギヤザー | 互いに成長しよう



支援員  
**三井貴浩** Mitsui Takahiro

見えなくても、見えにくくても本が読みたい！その声にお応えするのが点字図書館の役割です。点字図書を利用してくださる、ひとりでも多くの「読みたい」の声に応えていけるように、点字担当職員として様々な点字図書の製作・発信に力を入れていきたいです。



支援員  
**芝高 薫** Shibataka Kaoru

要約筆記者の養成や派遣コーディネートを担当しています。聞こえない方や聞こえにくい方と社会のさまざまな人とをつなぐことができ、日々やりがいを感じています。初心を忘れず、聞こえない方や聞こえにくい方に安心して生活を送っていただきために、少しでも多くの架け橋となるようこれからも頑張っていきます。





相談支援員  
**綴木愛実** Tsuzuregi Aimi

4年間フルタイムで勤務していましたが、出産を機に、パート勤務に転換してもらい、都合のつく日に出勤しています。子育てをしながら仕事をすることに不安を持っていましたが、家庭の事情に配慮してもらえるので、無理なく働くことができています。

また、「徳島県地域生活定着支援センター」には、経験も知識も豊富な職員が配置されているので、つまずいた時には、いつでも気軽に相談でき、的確なアドバイスをもらえます。対象者の方の更生と生活の安定を図るため、日々笑顔をモットーにがんばっています。

# Interactive

インテラクティブ | 対話を忘れない



## 徳島県 地域生活定着 支援センター

### 運営方針

高齢や障がいにより、福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者等に対し、矯正施設、保護観察所等と連携・協働して支援や相談を実施し、退所予定者の状況やニーズ等に応じた支援を行うことにより、再犯防止に繋げ、地域の中で安心して暮らせるよう支援します。



相談支援員  
**吉積路子** Yoshizumi Michiko

「徳島県地域生活定着支援センター」では、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士等の資格を持った職員が、それぞれの得意分野を活かして、一人ひとりに合わせた丁寧な福祉的支援を行っています。

自立した日常生活への復帰を支援していく

中で、時には困難にぶつかることがあります、皆で協力し目標を達成するために行動していくプロセスに非常にやりがいを感じています。また、年次や立場も関係なく、1年目から自由にアイデアを出し合える環境が整っていますので、個人の個性と挑戦が生かされる職場です。



指導員  
**瀧谷栄二** Shibutani Eiji



「徳島県障がい者スポーツ協会」は、職員間の結束が強く、時には冗談も言い合いながら毎日楽しく業務を行っています。主な業務は、各種スポーツ大会の開催や施設・学校への出張スポーツ教室など多岐にわたっています。また、県選手団の事務局として帯同する全国障害者スポーツ大会は、全国の仲間と交流し合える素晴らしい機会となっています。

多くの人とつながることができ、一緒に楽しい時間を過ごすことで、自分自身もこの仕事のやりがいを実感するとともに、スポーツの魅力を心から感じています。この仕事に携わることで、障がい者スポーツの素晴らしさを知ることができました。スポーツを通じて沢山の人々に笑顔になってもらえるよう、私たちはこれからも障がい者スポーツを盛り上げていきます。

## 徳島県障がい者スポーツ協会

### 運営方針

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、より一層の障がい者スポーツの振興・普及促進を図るとともに、各種障がい者ス

ポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣等を行い、協会事業の積極的な展開を図ります。

# Enjoy

エンジョイ | すべてを楽しく



## 徳島県障がい者 芸術・文化活動支援センター

### 運営方針

障がい者が、芸術・文化に触れる機会を増やすとともに、阿波藍や阿波踊り、大谷焼など徳島の伝統文化を活かした表現や発表の機会を創出し、障がい者の社会参加を促すことにより、地域において豊かな生活が実現できるよう、取り組みを進めます。

また、ノーマライゼーション促進センターにおいて、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障がい者の集い県民大会などの啓発活動、福祉バスの運行の管理運営を行います。



相談員

西木 正 Nishiki Tadashi

芸術・文化は、障がいのある方が「優れた才能」を發揮し、「感動」を創造できる大きな可能性を秘めた舞台です。

「徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター」は、平成30年9月に徳島県立障がい者交流プラザに開設されました。障がいのある方、そのご家族や支援者、芸術・文化活動に興味のある方々とつながり、徳島県における芸術・文化活動の輪が広がっていくことを目指しています。



# Creativity

クリエイティビティ 表現しよう、発信しよう

## 徳島県立総合福祉センターの 管理運営

### 運営方針

地域の福祉活動の拠点施設として、ホール、会議室、ボランティアの活動の場を提供します。また福祉にかかわる各種情報の提供を通じ、地域福祉の発展に努めます。

管理運営にあたっては、障がい者、高齢者、子どもなど幅広い利用者層の安全確保の徹底、会議室

利用者の拡大、入居福祉団体や地域との連携を図り、事業を進めます。また災害時における地域の避難所として、備蓄品などの管理を行い避難所の機能を強化します。

### 利用定員

●872名(14会議室等)

# Energy

エナジー 活力100%



## 徳島県立 障がい者交流プラザの 管理運営

### 運営方針

障がい者をはじめ県民の多様な活動と交流の拠点施設として、交流の場の提供、視聴覚障がい者に対する支援、障がい者の文化芸術の振興、スポーツの振興・普及などを行い、障がい者の自立と社会参加を促進します。管理運営にあたっては、視聴覚障がい者支援センター及び障がい者スポーツセンターと連携して利用者の安全管理を徹底します。また災害における地域の避難所として、備蓄品などの充実、開設運営訓練を行い避難所の機能を強化します。

### 利用定員

●227名（8会議室等）



### 総合受付

烏野賀織 Uno Kaori

受付は、交流プラザで、来館された方が初めて訪れる場所ですので、常に笑顔を心がけています。また、利用される方が必ず立ち寄られるので、多くの方と接する機会があります。ご案内した方に笑顔でお礼を言われると、とても嬉しいります。

また、施設で開催されるイベント情報などをお知らせし楽しんでいただいている。イベントを楽しみにしてくださっている方もたくさんいらっしゃいますので、利用者の方に私たちの声でお伝えできることにやりがいを感じています。

# Happiness

ハピネス | 出会い=幸福



Sumida Michio



Kawano Yumiko

### 福祉の店「BAI-TEN」

住田美千緒 Sumida Michio  
河野由美子 Kawano Yumiko

交流プラザの正面玄関を入るとすぐに、福祉の店「BAI-TEN」があります。

店内には、県内約40の福祉施設等で製作された個性的でオーナーの商品を販売しています。商品をお客様にご紹介し、ご購入いただいた時には、「とても嬉しく思います。」「上手に作つたなあ、ここに来たらちょっと他にないものがあるけん楽しいなあ、いやされるわあ」とのお客様の声に支えられて、「ほうじや、プラザに行ったら寄らなかんわ」と足を運んでいただくと、私たちスタッフが笑顔でお待ちしています。



## 地域連携と地域貢献

「希望の郷」では、職員が地域貢献委員会を設け、積極的に地域の大きな行事に参加し、協力関係をつくるとともに、防災訓練、防災セミナー等地域防災への取り組みやボランティア・実習生等の受け入れなど、多様な連携と地域貢献に取り組みます。「未来」では、施設の行事を地元企業、保護者会等からの協力をいただき開催し、地域に開かれた施設づくりを進めます。また、地域貢献の試みとして、地域の放課後児童クラブとの交流会や地域の高齢者を対象とした、看護師による健康相談や管理栄養士による栄養と食事指導等にも取り組みます。



## 防災への取り組み

「希望の郷」では非常用自家発電設備の整備、飲み水や非常食の備蓄（3日分）を行っています。地域の方の参加を呼びかけて、総合防災訓練を実施し、避難訓練や衛星携帯電話を活用した災害時の緊急連絡訓練を実施しています。県立施設の管理運営では、福祉避難所の指定を受けており、避難所の開設運営など、地域の方が参加した運営訓練やセミナーを開催しています。法人として、事業継続計画（BCP）の策定、職員の緊急時参集体制などを整え、課題を解決しながら大規模災害への備えを強化していきます。



## 職員採用と人材育成

### 1. 職員採用

- 利用者の支援を行う支援員と保育士を毎年度3名程度、計画的に採用しています。試験は一次試験が高校卒業程度の一般教養試験(択一式)と小論文。二次試験は個別面接。
- 理学療法士、作業療法士、看護師、心理職など、専門性を必要とする職種については、2つのコースに分けて職員採用を行います。  
試験は、一次試験が専門性を問う論文試験と面接。二次試験はプレゼンテーション及び総合的な専門性をみるための面接を実施します。
- ① 採用後に専門分野での経験とスキルを積んでいく「キャリア・アップコース」
- ② 相当な経験があり、即戦力が期待されるUターン希望者などの「専門職コース」

### 2. 給与と手当

毎年度定期昇給が行われます。職歴がある場合は、

- 給与モデル(資格を有する支援員・保育士で施設勤務の場合)

初任給 169,900円 (2019年時点)

5年後 191,900円

10年後 226,100円

- 夜間勤務手当(1回あたり7,000円)、扶養、住居、通勤などの手当

- 賞与は年2回(6月と12月)

基本支給率4.24ヵ年(2019年実績) 資格取得者、成績優秀者は加算制度有

- 処遇改善加算制度により3月に一時金支給



### 3. 人材育成

- 年間の研修計画を策定し、効果的な研修と人材育成を進めています。
- 専門性が必要とされる分野では、各事業所で計画的な外部研修を実施しています。
- 新任職員を対象とするOJT研修では年齢が近い先輩職員が指導者(チューター・サブチューター)となり、新人職員をサポートします。また中堅職員のスキルを高めるためOJT研修の導入を進めます。
- 徳島県との人事交流(2年間)や他の法人との職員交流研修を実施し、職員が希望するあらゆるステップ・アップの機会をつくります。
- 介護支援専門員や介護支援員などの福祉専門資格を取得した職員には助成金を支給し、専門資格の取得をサポートしています。
- 法人として福利厚生センター(ソウェルクラブ)に加入し、各種福利厚生を利用できます。

### 4. 課題解決プロジェクトチーム

業務改善と利用者サービスの向上を図るとともに、職員が自ら課題に取り組み、企画力を高めることを目的として、各事業所の職員で構成されるプロジェクトチームが活動し、具体的な提案を行います。働きやすい職場づくり、利用者サービスの向上、業務の改善に関する課題について、それぞれテーマを設定し、法人の課題を「自分事」としてとらえ、解決に取り組みます。また、事業所の枠を超えて職員間の交流(イーティング・ミーティング・エキサイティング)するきっかけとして、毎月、一か所に集まり、給食を食べながら自由に話をしています。情報交換や良い実践例の発見や共有など、新たな気づきや刺激を得る機会となっています。



# Topics

## 総合的な地域生活支援拠点の整備

# ふらっとKOKUFU (仮称)

### 整備方針

障がい者の重度化・高度化が進む中にあって、将来にわたって地域で安心して生活できる住まいを確保するとともに、①相談、②緊急時の受け入れ・対応、③体験の機会、④専門性、⑤地域の体制づくりなどの多面的な支援が必要とされています。このため、総合的な地域生活支援拠点を徳島市国府町('未来'の東側隣接地)において2020年度に整備に着手し、子どもから大人までの切れ目のない支援、地域で生活するあらゆるシーンに応じた総合的な支援を実現します。

### 基本計画の概要

次のような事業を実施し、地域共生社会のモデルとなる拠点とします。

- 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、生活介護事業、就労継続B型事業を実施する多機能型事業所として整備
- 障害者支援施設「希望の郷」、障害児入所施設「未来」と連携
- 夜間支援体制を備えたグループホーム(共同生活援助事業)の整備と緊急時の受入れが可能な短期入所事業(併設型)
- 24時間365日体制の相談支援事業
- 交流スペースで地域との交流事業、徳島県版ユニバーサルカフェの開設
- 災害発生時の福祉避難所の指定

